



2017・12・11

第 292 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

3000 万署名で安倍改憲反対の声を国会へ

参院審査会で各党が意見表明

参議院の憲法審査会は 12 月 6 日、1 年ぶりに実質的な審議をおこないました。

会議では自民の磯崎仁彦議員が「一部に根強く残る自衛隊違憲論を払拭するため」自衛隊を憲法に明記することを検討していると発言。これを受けて希望の党の松沢成文議員は自衛隊を「しっかり書き込むことこそ憲法体系にふさわしい」と発言、維新の会の浅田均議員も「われわれも自衛隊の明記について必要性を理解している」と同調しました。

これにたいし民進党の白真勲議員は自衛隊を明記する改憲は「集団的自衛権の合憲化だ」と批判。共産党の仁比聡平議員、社民党の福島瑞穂議員は反対を表明しました。

公明党の伊藤孝江議員はこの問題に見解を示しませんでした。

世論調査は改憲反対が上まわる

共同通信社は 12 月 2 日、3 日に世論調査をおこないましたが、そのなかで「あなたは安倍首相の下での憲法改正に賛成ですか、反対ですか」の設問に対する解答はつぎの通り（カッコ内は前回 11 月 1、2 日）。

賛成	36・0	(39・4)
反対	48・6	(50・2)
わからない・無回答	15・4	(10・4)

(「東京新聞」12 月 4 日)

神社の大祭で訴え 112 人が署名

【岡山県高梁市／高梁 9 条の会】 高梁 9 条の会は 3 日、近似（ちかのり）稲荷神社霜月大祭の会場周辺で安倍 9 条改憲に反対する 3000 万署名の共同行動に取り組みました。毎月の共同行動は 143 回目。約 1 時間で 112 人分の署名が寄せられました。

泉浩爾、斉藤幸子の両代表世話人ら 13 人が参加。参拝者に「安倍改憲に反対の声を国会へ届けよう。戦争放棄を決めた憲法 9 条を守ろう」と呼びかけました。

多くの人が足を止の、「戦争だけは絶対にいけません」「9 条は大切、安倍さんは危険じゃ」と署名に応じました。年配の男性は「戦争は二度とあってはならん。頑張ってくれよ」と会員を励ましながら丁寧に署名していました。

母親連絡会の提起を受け、「12 月 8 日は太平洋戦争突入の日。これが赤紙です。海外で戦争する国への 9 条改憲に反対を」のビ

ラを配りました。

初めて参加した会員は、「多くの人に署名してもらってよかった。つぎの機会にも参加したい」と話しました。

地元で 40 人の署名集めて行動に参加

【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】

宮城県内九条の会連絡会は 5 日、仙台市内の繁華街で定例宣伝を繰り広げ、安倍政権から 9 条を守る「3000 万署名」を呼びかけました、

参加者が「平和を守ろう！命をまもろう！9 条まもろう！」と書いたビラを市民らに手渡しました。「これまでは平和憲法のうちに生きていけると信じてやまなかった。憲法を守るために今行動しましょう」とハンドマイクで次々に署名を訴えました。

署名した仙台市若林区の男性（42）は「安倍政権はご都合主義で許せない。そこを国民がきちんと見極めないと戦前に戻ってしまう。改憲を阻止して子どもたちに明るい平和な社会を残したい」と話しました。

仙台市太白区の女性（83）は「9 条があったから戦後 70 年間平和が守られてきました。憲法を守りたい」と署名しました。

高校 1 年生の男女や 10 力月の女兒を抱く女性などが次々足を止め書名に応じ、109 人分が集まりました、

「九条を守る加茂の会」の油谷重雄さん（74）はこの日の午前中、地元で 40 人の署名を集めて宣伝に参加しました。「今のままでは戦争できる国になってしまう。そういった国を孫たちに残してはならない、今声を上げて安倍 9 条改憲に反対することが大事だと思う」と力を込めました。

スタンディングと併せ 3000 万署名

【秋田県秋田市・潟上市／九条の会】 安倍政権による 9 条改憲反対の一点で地域から大きな運動をつくろうと、「アベ政治を許さない」のポスターをいっせいに掲げるスタンディング行動が 3 日、秋田市と潟上（かたがみ）市で行われました。

秋田市では、「秋田九条の会」「あきた女性九条の会」などが呼びかけ、JR 秋田駅前アーケードで通行中の人たちに 3000 万署名を呼びかけました。

行動が始まるとすぐに 40 代の女性が近寄ってきて署名しました。続いて、70 代の夫婦が「安倍政権に改憲をされたら大変なことになる。何としても止めたい」と語り、多くの人が足を止めて、進んでサインしました。

参加者は午後 1 時きっかりにポスターを元気よく掲げて、市民にアピールしました。

潟上市では、「潟上九条の会」のメンバーらが国道沿いでのはりやポスター、プラスターを掲げて行動しました。雪まじりの雨が降る悪天候のなか、信号待ちや駐車場に出入りする買い物客らから注目を集めました。

アメリカ言いなりの首相に批判の声も

【福岡市南区／南区 9 条の会等】 福岡市南区 9 条の会と南区革新懇は 4 日、市内の大橋駅前で、第 2 回目の 3000 万署名宣伝をし、会員ら 16 人が「9 条改憲ゆるさない署名に協力を」と呼びかけました。

参加者らは 150 枚のビラを配布。市民が「安倍首相はアメリカの言いなり」と言っ

て署名するなどし、76人分の署名が集まりました。

北朝鮮問題を口実にした脅迫に反論

【愛媛県松山市／三津・高浜9条の会】

三津・高浜9条の会は3日、スーパー前で定例の「3の日宣伝」に取り組みました。13人が「アベ政治を許さない」のプラスタ一などを掲げ、アピールしました。

田中慈照共同代表はスピーチで、1941年に三津で撮影された国策映画に言及。先月、地元で上映され、港から戦地へ向かう兵士を激励するプラスバンドに小学生が参加しようと奮闘するもので「非常につらい内容だった」と感想を述べ、「政府は、一見分からない形で国民を戦争に巻き込みます。今また同じ歴史が繰り返されようとしている」と訴えました。

松山大学の松尾博史教授は、北朝鮮の核・ミサイル問題への安倍政権の対応について「挑発で危機をあおり、国民の恐怖心をばねに、一気に改憲を狙う意図が窺える」と指摘。9条を守る努力の強化を呼びかけました。

戦争体験を語り署名する婦人も

【札幌市手稲区】 “憲法改悪反対は国民多数の声” 一札幌市手稲区で新発寒9条の会と「市民の嵐」、市民と野党の共闘を求める手稲区民の会は3日、共同し、JR手稲駅の通路“あいくる”でスタンディング行動をくり広げました。

20人余の人たちが「共謀罪反対です『話し合う』ことが犯罪に」「憲法が危ない 日本を『戦争する国』に戻す」と書いた横断

幕、「憲法変えるな 改憲は軍国の道！」ののぼりを掲げ、安倍政権の9条改憲に反対する「3000万署名」をよびかけました。

「憲法9条に自衛隊が書き加えられたら軍隊になります。安部首相をやめさせないとだめです」と女性が署名。

「東京にいて、戦争をくぐり抜けてきました」と話す90歳の女性は「戦争をしてよいことはありません。戦争は絶対にしてはいけません」と力をこめました。「侵略戦争を反省しないと。核兵器禁止条約に署名しないのはおかしい」

小学4年生の娘がいる母親は「いつまでも平和であり続けることを願うばかりです。頑張ってください」と署名し、激励していただきました。

戦争には党派を超えて反対を

【熊本県／くまもと九条の会】

くまもと九条の会は2日、改憲の発議をさせないために「安倍9条改憲ノー！憲法を生かす全国統一署名行動」とスタンディングをしました。熊本駅前に70人ほどが集まり、プラカードやのぼりを持って歩道橋の上でスタンディングし、駅前で署名を呼びかけました。

九条の会代表の猪飼隆明氏らが「改憲を阻止するために、署名をお願いします」と訴えました。

男子高校生（2年生）は「戦争には反対だから」と署名に応じました。80歳の女性は、「戦争だけは許さない」と、駆け寄って署名しました。女性は、戦争当時小学生、いところを長崎の原爆で亡くしたと振り返り、「地球上の誰もが平和で穏やかに安心して

生活できるよう、戦争には党派を超えて反対するべきです」と力を込めました。

総会ひらき 3000 万署名へ決意

【千葉県東金地域】 東金地域（東金、大網白里、山武の各市、九十九里町）・九条の会は2日、東金市内で、2017年度第10回総会を開きました。

総会では戸賀輝彦事務局長が1年間の経過と会計報告し、2018に向けて①「安倍改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000万署名）を軸に対話の運動を②会独目で憲法を守るため国会請願署名に取り組む③「九条の会」のブックレットを利用した学習会の開催一などの方針を提案しました。

参加した会員が発言。「安倍改憲の憲法9条3項に自衛隊の明記は、ただ書き込むだけではないことを、分かりやすく訴えていく工夫が必要」「3000万署名を100人の目標で取り組もうとしているが、今一つ足が出ていない」「地域ごとに日程を決めて署名行動をしてはどうか」など意見がだされたのを受けて、それぞれの地域で「9日行動」として「3000万署名」に取り組むことを決めました。

総会に先立ち、プチコンサートが行われ、シンガー・ソングライターの、いしい・たえさんがオリジナル曲の「星（ひかり）」「彩（いろどり）」など全5曲を熱唱しました。

市民と野党の共闘で力発揮し

【千葉市緑区／誉田9条の会】 誉田（ほんだ）9条の会は2日、区内で発足10周年の集いを開き、「草の根から世論をひろげ、3000万人の声を届け、安倍9条改憲をなん

としても阻止しましょう」とのアピールを拍手で確認しました。

集いには県革新懇代表世話人で元県議の川本幸立氏や共産党の樫沢洋平市議、「ちば3区結（ゆい）の会」の伊藤智香子の各氏が参加、あいさつしました。総選挙を市民と野党の共闘候補としてたたかった立憲民主党の岡島一正衆院議員も参加しました。

弁護士の島貫美穂子氏が「憲法改正は必要なのか？」と題して講演。参加者らは、質疑や談論でアベ改憲の問題点を学びました。

岡島氏は国会報告し、この中で、安倍9条改憲に反対してたたかうと表明。参加者は大きな拍手で応えました。

孫を絶対に戦争に送りたくない

【広島県三原市／九条の会・三原】 九条の会・三原は2日、九条の会の小森陽一事務局長を講師に迎え、講演会を開きました。「戦争をさせない三原市民行動が後援し、約170人が参加しました。

九条の会・三原の阪田光昭共同代表は「先の総選挙で安倍政権をやめさせることができなかった。どう立ち向かうか、講演を聞いて考え合いたい」とあいさつしました。

小森氏は「9条3項に自衛隊の3文字を書きこまれたら、1項、2項は死文化する」と指摘。改憲反対の3000署名に取り組もうと呼びかけました。

講演を聞いた男性は「公共の福祉を公の秩序という言葉に置き換えて国民を縛ろうとしているが、孫を絶対に戦争に送りたくないで、改憲は許せない」とのべました。